



コンソールの整理方法を計画する

NetApp Console local deployment

NetApp
August 10, 2026

目次

コンソールの整理方法を計画する	1
NetApp Console ローカル展開でのIDとアクセス管理の開始	1
初期設定後	1
NetApp Console ローカル展開におけるフォルダーとフリートについて	2
組織構成要素	2
リソース	3
メンバーと役割	3
組織設計の例	4
次の手順	5
NetApp Console ローカル展開におけるロールベースアクセス制御について学ぶ	5
コンソール組織メンバーの種類	6
NetApp Console ローカル展開における事前定義済みロール	6
役割継承の仕組み	6

コンソールの整理方法を計画する

NetApp Console ローカル展開でのIDとアクセス管理の開始

NetApp Console のローカル展開では、フォルダとフリートの階層を設定し、メンバーと初期権限を追加し、適切なチームがアクセスして管理できるように、リソースを適切なフリートに追加して配置します。

必要なアクセスロール

スーパー管理者、組織管理者、フォルダ管理者、またはフリート管理者。["アクセスロールについて"](#)。

初期設定を完了するには、**Organization admin** または **Super admin** のロールが必要です。セットアップ後は、組織の変更に応じて、リソース、メンバーアクセス、およびフリートアクセスを管理します。

1

リソースの追加または検出

Console のローカル展開にシステムを追加します。初期設定時には、通常、デフォルトのフリートが選択されている状態でシステムが追加されます。

リソースの作成方法や検出方法について説明します。

- ["オンプレミス ONTAP クラスタ"](#)

2

フォルダとフリート階層を作成する

自社の組織構造に合わせて、追加のフリートとフォルダを作成します。

["フォルダとフリートを使ってリソースを整理する方法を説明します。"](#)

3

リソースを適切なフリートに関連付ける

コンソールのローカルデプロイメントでシステムを追加または検出すると、そのリソースは現在選択されているフリートに自動的に関連付けられます。システムを適切なチームが利用できるようにするには、組織階層内の適切なフリートにシステムを関連付けます。

- ["フォルダとフリート内のリソースを管理する方法について説明します。"](#)

4

メンバーを追加し、開始時の権限を割り当てる

メンバーを追加し、管理対象に基づいて、組織、フォルダ、またはフリートレベルで役割を割り当てます。

["メンバーとその権限を管理する方法を説明します"](#)。

初期設定後

初期設定が完了したら、組織の変更に合わせてアクセス権限とリソースの配置を管理します。

- "フォルダーとフリートでリソースを管理する"
- "フリートやフォルダ全体にわたるメンバーアクセス管理（メンバー中心）"
- "特定のフリートまたはフォルダへのアクセス権限を管理する（フリート中心）"
- "不要になったフォルダとフリートを削除する"

関連情報

- ["NetApp Console のアイデンティティとアクセス管理について"](#)
- ["IDとアクセス管理のAPIについて"](#)

NetApp Console ローカル展開におけるフォルダーとフリートについて

NetApp Console のローカル展開では、フォルダーとストレージフリートを使用して、場所、部門、またはワークロードタイプ別に、ビジネス構造に応じた NetApp リソースの整理とアクセス制御を行います。

このページは、階層構造戦略とフリート設計パターンに関する情報を提供しています。メンバー、ロール、リソーススコープの完全な IAM モデルについては、["NetApp Console ローカル展開におけるアイデンティティとアクセス管理について"](#)。

リソースは階層構造で整理されます。最上位に組織があり、その下にフォルダ（他のフォルダやフリートを含むことができる）、そしてストレージシステムを含むフリートが続きます。組織、フォルダ、またはフリートレベルでアクセスロールを割り当てることで、ユーザーがリソースに適切なアクセス権限を持つようになります。



NetApp Console のローカル展開でフォルダーとフリートを管理するには、組織管理者、フォルダーまたはフリート管理者の役割が必要です。

組織構成要素

組織構成要素（組織、フォルダ、フリート）は階層構造を形成し、リソースのグループ化方法とアクセス権の委任方法を決定します。

組織

組織はNetApp Consoleのローカル展開階層の最上位であり、通常はお客様の会社を表します。組織は、フォルダ、フリート、メンバー、役割、およびリソースで構成されています。リソースはフリートに関連付けられ、メンバーには組織、フォルダ、またはフリートレベルで役割が割り当てられます。

フォルダ

フォルダは、関連するフリートをグループ化し、場所、拠点、または事業部門ごとに整理します。ストレージシステムをフォルダに直接関連付けることはできませんが、フォルダレベルでメンバーにロールを割り当てると、そのフォルダ内のすべてのフリートへのアクセス権が付与されます。



組織管理者は、リソースをフォルダーに追加することで、そのリソースをフリートに関連付けるタスクをフォルダー管理者またはフリート管理者に委任できます。["リソースをフォルダーとフリートに関連付ける"](#)。

フリート

フリートはストレージシステムをグループ化します。フリートにリソースを割り当て、フリートレベルでメンバーにアクセス権を付与します。リソースは複数のフリートに属することができます。フリートへのアクセス権を持つメンバーは、そのフリート内のリソースを管理できます。

例えば、ニーズに応じて、オンプレミスの ONTAP システムを単一のフリートまたは組織内のすべてのフリートに関連付けることができます。

["フォルダとストレージフリートの作成方法を説明します".](#)

リソース

リソースとは、コンソールのローカル展開が認識し、フリートに割り当てることができるストレージシステムのことです。リソースをフリートに関連付けることで、フリートへのアクセス権を持つユーザーがリソースを管理できるようになります。

例えば、ONTAP クラスタを組織内の1つのフリート、またはすべてのフリートに関連付けることができます。リソースをどのように関連付けるかは、組織のニーズによって異なります。

["リソースをフリートに関連付ける方法を説明します".](#)

メンバーと役割

メンバーとは、組織内のユーザーおよびサービスアカウントのことです。役割は、組織、フォルダ、フリートといった階層構造のどのレベルで、どのようなアクションを実行できるかを定義します。

Members

組織のメンバーは、ユーザーアカウントまたはサービスアカウントのいずれかです。サービスアカウントは通常、アプリケーションが人間の介入なしに特定のタスクを完了するために使用されます。

組織管理者権限を持つユーザーは、組織に新しいメンバーを追加できます。コンソールのローカル展開にアクセスするには、すべてのユーザー（サービスアカウントおよびActive Directoryユーザーを含む）を明示的に追加し、少なくとも1つのロールを付与する必要があります。

["組織にメンバーを追加する方法を説明します".](#)

アクセスロール

コンソールのローカル展開では、組織のメンバーに割り当てることができるアクセスロールが提供されます。

メンバーにロールを関連付けると、そのロールを組織全体、特定のフォルダ、または特定のフリートに付与できます。選択したロールによって、メンバーは階層構造の選択した部分にあるリソースへのアクセス権を得ます。

NetApp Console のローカル展開では、最小権限の原則に準拠したきめ細かなロールが提供されます。つまり、アクセスロールは、メンバーが必要とするものにのみアクセスできるように設計されています。

ユーザーは、職務範囲の拡大に伴い、複数の役割を担うことができます。

役割継承

組織レベルまたはフォルダレベルでロールを割り当てると、その下の子フォルダ、フリート、およびリソースはそのロールを継承するため、フォルダとフリートの設計によって、各割り当ての適用範囲が決まります。

["NetApp Console ローカル展開におけるロール継承について"](#).

組織設計の例

適切な組織構造は、組織の規模とチームの編成方法によって異なります。以下の例は、さまざまな組織がフォルダとフリートの階層構造を利用してアクセスを効果的に管理する方法を示しています。

小規模組織戦略

ユーザー数が50人未満で、ストレージ管理が一元化されている組織の場合は、Super admin と Super viewer のロールを使用した簡略化されたアプローチを検討してください。

例：ABC Corporation（5人チーム）

- 構造：3つのフリート（本番環境、開発環境、バックアップ環境）を持つ単一組織
- 役割：
 - 上級メンバー2名：完全な管理アクセス権限を持つスーパー管理者ロール
 - チームメンバー3名：変更権限なしで監視するためのスーパービューアーロール
- メリット：管理の簡素化、役割の複雑さの軽減、幅広いアクセス権限を必要とするチームに適しています

多地域展開企業戦略

地域ごとの事業展開や専門チームを持つ大規模組織の場合は、地理的境界や事業部門の境界を表すフォルダを用いた階層的なアプローチを採用してください。

例：XYZ Corporation（多国籍企業）

- 構造：組織 > 地域フォルダ（北米、ヨーロッパ、アジア太平洋） > 地域別フリート
- プラットフォームの役割：
 - 1 組織管理者：グローバルな監督とポリシー管理
 - 3 フォルダーまたはフリート管理者：地域制御（地域ごとに1人）
 - 1 フェデレーション管理者：企業ディレクトリサービスの統合
- 地域別のストレージロール：
 - ストレージ管理者：割り当てられたリージョン内のストレージシステムを検出および管理します
 - ストレージビューア：リージョンをまたいでストレージリソースを監視する
 - システムヘルススペシャリスト：システム変更なしでストレージの状態を管理
- メリット：役割分担、地域ごとの自治、および現地規制の遵守によるセキュリティの強化

部門専門化戦略

特定のアクセス権限を必要とする専門チームを持つ組織では、職務上の責任に基づいた、対象を絞った役割割り当てを使用してください。

例：**TechCorp**（中規模テクノロジー企業）

- 構造：組織 > 部門フォルダ（IT、セキュリティ、開発） > フリート固有のリソース
- 専門的な役割：
 - セキュリティチーム：ランサムウェア耐性管理者および分類ビューアーの役割
 - バックアップチーム：包括的なバックアップ操作を行うバックアップおよびリカバリのスーパー管理者
 - 開発チーム：ストレージ管理者（テスト環境管理）
 - コンプライアンスチーム：監視およびサポートケース管理のための運用サポートアナリスト
- メリット：カスタマイズされたアクセス制御、運用効率の向上、専門業務に対する明確な責任体制

次の手順

- "フォルダとストレージフリートを作成する"
- "リソースをフォルダーとフリートに関連付ける"
- "フリートアクセス割り当ての管理"
- "コンソールのローカル展開アクションを監視または監査する"

NetApp Console ローカル展開におけるロールベースアクセス制御について学ぶ

ロールベースアクセス制御（RBAC）を使用して、NetApp Console ローカルデプロイメントへのユーザーアクセスを管理します。組織、フォルダ、またはフリートレベルで事前定義されたロールを割り当てることができます。各ロールには、ユーザーが割り当てられたスコープ内で実行できる操作を定義する特定の権限が付与されます。

NetApp Console のローカル展開ロールは、最小権限の原則に基づいて設計されているため、各ロールにはそのタスクに必要な権限のみが含まれます。このアプローチは、各メンバーが必要とするアクセスを制限することで、セキュリティを強化します。

リソースをフォルダーやフリートに整理したら、組織のメンバーに特定のフォルダーやフリートに対する役割を割り当て、各メンバーがそれぞれの責任のみを果たすようにします。

例えば、特定のフリートレベルに対してバックアップおよびリカバリの管理者ロールをメンバーに割り当てることで、そのメンバーは組織全体への広範なアクセス権を付与されることなく、そのフリート内のリソースに対するバックアップおよびリカバリ操作を実行できるようになります。この同一ユーザーには、組織内の複数のフリートに対するロールを付与することができます。

メンバーには、責任範囲に応じて、同じスコープまたは異なるスコープで複数のロールを割り当てることができます。例えば、小規模な組織では、組織レベルで Storage admin と Backup and Recovery admin の両方のロールを同じメンバーに割り当てることがある一方、大規模な組織では、フリートレベルでそれぞれのロール

に異なるメンバーを割り当てることがあります。

コンソール組織メンバーの種類

NetApp Console のローカル展開では、以下の種類のメンバーがサポートされます：

- ユーザー：個々のユーザーは、ローカル認証情報を使用する NetApp Console ローカルデプロイメントに追加するローカルユーザー、または統合された Active Directory または LDAP サービスを介して認証を行うディレクトリユーザーのいずれかです。どちらのタイプのユーザーにも、リソースにアクセスするための NetApp Console ローカルデプロイメントでロールを割り当てることができます。
- サービスアカウント：アプリケーションやサービスが API を介して NetApp Console のローカル展開と連携するために使用する非人間アカウント。サービスアカウントをコンソールのローカル展開組織に直接追加できます。

["組織にメンバーを追加する方法を説明します。"](#)

NetApp Console ローカル展開における事前定義済みロール

NetApp Console のローカル展開には、組織メンバーに割り当てることができる事前定義済みのロールが含まれています。各ロールには、メンバーが割り当てられたスコープ（組織、フォルダ、またはフリート）内で実行できるアクションを指定する権限が含まれています。

NetApp Console のローカル展開ロールは、最小権限の原則を使用して、メンバーがタスクに必要な権限のみを持つことを保証し、提供するアクセスの種類ごとにロールを分類します：

- プラットフォームロール：コンソールのローカルデプロイメント管理権限を提供する
- データサービスロール：ランサムウェア耐性やバックアップとリカバリなどの特定のデータサービスを管理するための権限を提供します。
- アプリケーションロール：ストレージの管理、Console のローカルデプロイメントイベントおよびアラートの監査に関する権限を提供します。

メンバーの責任に基づいて、複数のロールを割り当てることができます。例えば、特定のフリートに対して、Storage admin ロールと Backup and Recovery admin ロールの両方をメンバーに割り当てることができます。

メンバーのアクセス権限を選択するには、役割カテゴリをメンバーの責任範囲に合わせ、次に、メンバーがどの程度のアクセス権限を持つべきかに応じて、スコープ（組織、フォルダ、またはフリート）で役割を割り当てます。["さまざまな組織がNetApp Consoleのローカル展開において、どのようにロールとスコープを構成しているかについて説明します。"](#)

["NetApp Console ローカル展開でメンバーに割り当てることができる事前定義済みロールについて説明します"](#)。

役割継承の仕組み

組織レベルまたはフォルダレベルでロールを割り当てると、そのロールは階層構造のその部分内の子スコープに継承されます。これは、組織レベルのロールは組織全体に適用され、フォルダレベルのロールはそのフォルダ内のすべての子フォルダとフリートに適用され、フリートレベルのロールはそのフリート内のリソースにのみ適用されることを意味します。

メンバーに保持させたいアクセス権限に一致するスコープを使用してください。例えば、メンバーが同一地域

内の複数のフリートに対して同じアクセス権限を必要とする場合、フォルダレベルでロールを割り当てます。メンバーが1つのフリートのみにアクセスする必要がある場合は、フリートレベルでロールを割り当ててください。

下位スコープで継承されたアクセス権を上書きすることはできません。メンバーが組織またはフォルダーからロールを継承した場合、最初に付与した上位スコープでその割り当てを変更してください。

["NetApp Console ローカル展開におけるフォルダーとフリートについて".](#)["メンバーアクセスを管理する".](#)["フリートアクセス割り当ての管理".](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。